

## 科目区分：外国語科目（英語）

授業科目名	英語コミュニケーション					学期	曜日	校時
英語名	English Communication							
担当 教員名	西原 俊明	単位数	1単位	必修 選択	必修	後期	金曜日	1校時
授業のねらい・内容・方法								
<p>基礎的な英語運用能力を高める訓練をする。特に、音声言語によるコミュニケーション能力のための訓練を行う。英語音声学・応用言語学の知見を取り入れ、<sup>h</sup>アワーク等を中心に行う。また、既習の語彙を用いた表現力の幅をひろげるため、Plain English に関する講義を併せて行う。前期に継続して、医者と患者による英会話等についても学習し、ライフサイエンスに関わる項目のプレゼンテーションを行ってもらう予定。</p>								
テキスト、教材等								
English for Medicine（金星堂）・プリント教材								
対象学生	成績評価の方法					教員研究室		
M12	期末試験(60%)、小テスト(30%)、授業への参加(10%)							
授業計画								
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. オリエンテーション</li> <li>2. 英語のリズム(1)、速読(phrase reading)と<sup>h</sup>アワーク(1)、医者と患者の会話(1)</li> <li>3. Voice Aerobics, 医者と患者の会話(2)</li> <li>4. リズムユニットの理解とシャドーイング(1)、医者と患者の会話(3)</li> <li>5. リズムユニットの理解とシャドーイング(2)、医者と患者の会話(4)</li> <li>6. 弱く発音される音、医者と患者の会話(5)</li> <li>7. インフォメーションギャップによる<sup>h</sup>アワーク(1)、映画による聞き取り(1)、</li> <li>8. 聞こえなくなる音、医者と患者の会話(5)</li> <li>9. インフォメーションギャップによる<sup>h</sup>アワーク(2)、医者と患者の会話(6)</li> <li>10. グループによるディスカッション(1)、映画による聞き取り(3)</li> <li>11. なくなる音、医者と患者の会話(7)</li> <li>12. ひとつになる音、インフォメーションギャップによる<sup>h</sup>アワーク(3)</li> <li>13. つながる音、映画による聞き取り(4)、医者と患者の会話(8)</li> <li>14. Review</li> <li>15. まとめのテスト</li> </ol> <p>上記のことに加えて、毎回、Plain English の学習及び小テストを行う。</p> <p>オフィスアワーは、水曜日 13:00~14:00 として、それ以外は、only by appointment とする。</p>								